

水稲病害虫発生調査結果

第2号 <8月15日発行>

兵庫県農業共済組合・たつの市・太子町

兵庫西農業協同組合・龍野農業改良普及センター

1 病害虫の発生状況

▶病害虫調査結果（調査月日：8月12日 調査圃場：たつの市5ほ場、太子町1ほ場）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病(葉いもち)	6ほ場中、2ほ場で葉いもちが確認されました。
紋枯病	6ほ場中、2ほ場で確認されました。
縞葉枯病	6ほ場中、1ほ場で確認されました。
ウンカ類	6ほ場すべてで確認されました。
ツマグロヨコバイ	6ほ場すべてで確認されませんでした。
斑点米カメムシ類	6ほ場中、3ほ場で確認されました。
（斑点米カメムシ類のうちイネカメムシ）	（6ほ場中、2ほ場で確認されました。）

※調査時の天候は小雨

【近畿地方向こう1か月(8月9日～9月8日)の天候の見通し】（大阪管区气象台発表）

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

- ・ 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・ 向こう1か月の平均気温は、高い確率が60%です。
- ・ 降水量はほぼ平年並でしょう。

2 害虫防除のポイント

斑点米カメムシ類の発生が多いため、兵庫県病害虫防除所が令和7年7月17日付で病害虫発生予察注意報第1号を出しています。以下を参考に適切な防除を実施してください。

なお、注意報第1号は<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1384>で確認できます。

(1) 発生状況

兵庫県病害虫防除所の7月上旬のすくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生地点率が56.5%と昨年同時期の22.7%に比べ高く、8月12日の太子・たつの調査では発生地点率は50%でした。

(2) 今後の発生予想

今後1ヶ月の気温が高く推移するため、出穂（しゅっすい）期～乳熟期を迎える稲は、斑点米カメムシ類の加害に好適な条件になります。

(3) 薬剤防除の留意点

- ・ 出穂直前の畦畔除草は、斑点米カメムシ類を本田に追い込むので控えてください。
 - ・ 薬剤防除は、穂ぞろい期～乳熟（にゅうじゅく）期にかけて行ってください。
 - ・ イネカメムシは他の斑点米カメムシ類と異なり、出穂直後から穂を加害して不稔穂を発生させるため、出穂期に本田で発生が見られたら、薬剤防除を検討してください。
- 出穂期とその7～10日後の2回防除が被害抑制に効果的です。



水稲でのイネカメムシの寄生

農薬等は JA 兵庫西の 2025 年度水稲栽培暦を参考にしてください。